

公共事業事前評価調書(令和6年度予算要望)

所管課:道路街路課 担当班:企画調整班

事業名	主要地方道 沖縄嘉手納線(松本～知花)道路改築事業	事業区分	道路 (通常補助)	事業主体	沖縄県
事業箇所	沖縄市松本～知花				
事業の諸元	IC部構造:本線直結型(トランペット型) 延長L=約1.1km、W=14.5m				
事業の概要	本事業は、ハシゴ道路ネットワークの構築を図るため、沖縄嘉手納線(池武当工区)と一体となって、追加インターチェンジの整備を行うものである。				
事業の 必要性・効果 等	<p>〈必要性等〉 縦幹幹線である沖縄自動車道と、主要な横断道路である沖縄嘉手納線とを結ぶ道路であり、本路線の整備はハシゴ道路ネットワークの構築に資するものである。</p> <p>〈効果等〉 隣接する沖縄南及び沖縄北インターチェンジの接続交差点は、主要渋滞箇所にて特定されており、慢性的に交通渋滞が発生している。本路線の整備により、両インターチェンジの交通負荷が軽減され、渋滞緩和に大きく寄与する。また、本路線の整備により、沖縄自動車道と中城湾港新港地区のアクセス性が向上することから、物流の効率化や産業振興に大きく寄与する。</p>				
事業期間	事業採択	令和6年度	完了(予定)	2030年代後半	
全体事業費	111(億円)	補助・単独の別	補助	補助率	9/10
費用対効果	B/C	総便益:B	315.7(億円)	総費用:C	108.0(億円)
	= 2.92	走行時間短縮便益	281.0 億円	事業費	98.0 億円
		走行経費減少便益	29.0 億円	維持管理費	10.0 億円
		交通事故減少便益	5.7 億円		
事業着手の 熟度・上位計 画との整合性	沖縄県総合交通体系基本計画において「多様な利用目的に応じた道路網の整備」としてハシゴ道路ネットワークの構築が位置付けされている。				
環境への配慮	ランプについては住宅地への影響を可能な限り少なくなるように配置して生活環境へ配慮するとともに、緩衝緑地設置や低騒音舗装施工により良好な沿道環境を創出する整備を行う。				
関係する地方 公共団体等 の意見	沖縄市が平成26年度から30年度に掛けて検討を実施して構想案を取りまとめ、平成30年6月に整備に関する要請書が県に出された。				
概要図 (位置図)					